ここが原点、ここから未来。

60th Anniversary

おかげさまで北洲は60周年。

Premium Passive House
完成見学会のご案内

最新技術の粋を集めた実証住宅、完成。

UA値0.23W/㎡Kを実現！

<プレミアムパッシブハウスの概要>　建築面積／84.22㎡（25.42坪）延床面積／144.04㎡（43.48坪）

■開催日 平成29年

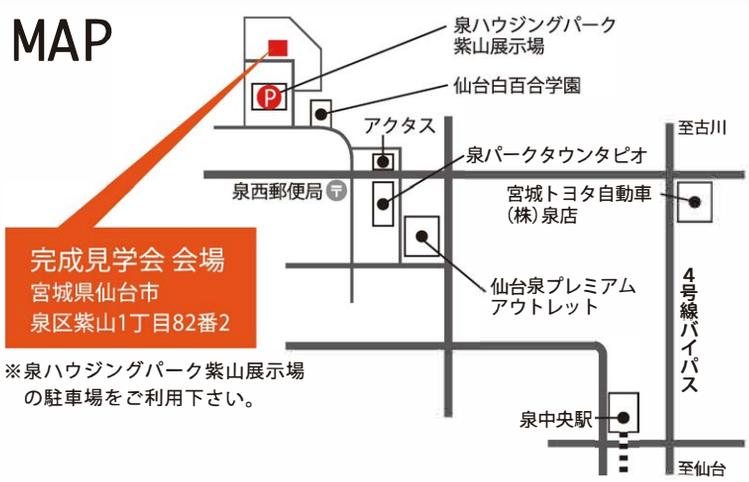
4/29(土)～5/7(日)　OPEN 10:00 ～ CLOSE 17:00

5/8(月)～　平日 土・日・祝　完全予約制 10:00 ～ 17:00

■その他、お問い合わせに関しましては下記までお願い致します。

株式会社 北洲　ハウジング事業部　仙台支店　TEL.022-348-3451
仙台南支店 TEL.022-241-8951

MAP



完成見学会 会場
宮城県仙台市
泉区紫山1丁目82番2

※泉ハウジングパーク紫山展示場の駐車場をご利用下さい。

スマホアプリで簡単 見学のご予約はこちら！

1 STEP　QR コード、又は WEB 検索
ほくしゅうリンク　検 索
http://www.hokushuhousing.co.jp/sns/

2 STEP　北洲公式アプリをダウンロード
App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

3 STEP　アプリ内の PPH 予約フォームから必要事項を入力

4 STEP　予約完了後、担当者から確認のご連絡

5 STEP　ご来場お待ちしております！

ご予約し見学会へご来場いただいた方に
北洲スタイリングbook「Good Ageing」を
プレゼント致します。

HOKUSHU

日本の住まいを「省エネ＝快適」へ

住宅におけるエネルギー自給自足の関心が高まる中、日本では住宅の省エネに対する様々な施策を打ち出しています。例えば、2020年の新築住宅における省エネルギー基準の適合義務化や、新築戸建の過半数のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス※1（以下 ZEH）化を目指すエネルギー基本計画等があげられます。

一方、現在の省エネ基準は先進国と比べ高い基準とは言えません。窓の断熱基準（Uw値※2）を例にあげてみると、先進国の平均値※3は1.69W/㎡・K に対し、日本の最高等級基準は 2.33W/㎡・K となっており先進国平均を大きく下回っています。

北洲は、省エネ基準をはるかに上回る性能で、「省エネ＝快適」な住まいづくりに挑戦しています。

※1：快適な室内環境と、年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下を同時に実現する住宅（経済産業省の定義）
※2：窓の熱貫流率。数値が低いほど断熱性能が高い。
※3：フィンランド、ドイツ、デンマーク、チェコ、オーストリア、イギリス、ハンガリー、フランス、イタリア、スペインの平均値となります。

プレミアムパッシブハウスとは・・・

快適・健康基準である北洲基準と３つの基準 を達成した実証住宅です。
設備に頼りすぎるのではなく、建築的なアプローチで快適な温熱環境を実現しています。

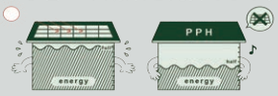
詳しくは HP へ
こちらからどうぞ！

達成基準１　ZEH Ready 40

断熱性を高め、省エネルギー化を実現した住まい。

建物の断熱性を高めることで、省エネルギーを実現します。住宅版BELSの最高等級「★★★★★」基準となるBEI※4 0.8を、大きく上回る0.4以下となるよう設計し、住宅のエネルギー消費量を大幅に削減します。太陽光発電設備を搭載せずに十分な省エネ効果を発揮します。

※4 BEI：設計一次エネルギー消費量／基準一次エネルギー消費量（その他のエネルギーを除く）



達成基準２　Fuel Poverty 0

年金でも支払える光熱費で安心して暮らせる住まい。

イギリスなどでは、年金・収入の10%以上が光熱費に使われてしまう世帯「Fuel Poverty（燃料貧困）」が問題視されています。北洲では5%以下※5となるように設計し、リタイア後も高い光熱費に悩まされない住まいを提案します。

※5モデルケース（夫婦二人、厚生年金＋国民年金）にて試算

達成基準３　Asset Value 30

将来の省エネ効果も考慮した、資産価値が続く住まい。

一般的に持ち家は光熱費に加え、設備交換等の維持費が必要になると言われています。長期に渡り省エネ効果が持続する素材を採用し、30年後においても資産価値を下げずに安心して快適に暮らせる住まいをご提案します。

３つの熱をコントロールし、快適な温熱環境を作る技術。

「断熱」

■D-Fenster nature

美しいデザインと機能性を兼ね備えた、木製のサッシです。ガラスはトリプルガラスを採用。性能においても、断熱性・気密性・水密性、それぞれ最高等級を獲得しています。

■W 断熱システム

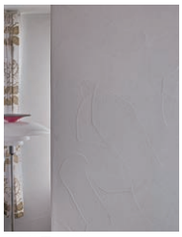
躯体内の充填断熱だけでなく、付加断熱として外張り断熱することにより、さらに断熱性を高めています。一年を通し快適な室内環境を作る事はもちろん、窓周りに陰影が生まれ、外観の意匠性を高める効果もあります。

「蓄熱」

■蓄熱塗り壁エコナウォール 25

国内メーカーと共同開発

日射熱や夜間冷熱を蓄えることのできる内装塗り壁材です。吸熱・放熱を繰り返すことで、室内の温度変化が緩やかになり快適な暮らしを実現します。さらに、長期間※6使用しても能力が低下しにくいため、設備のように交換する必要もありません。



※6 エコナウォール25は30年で90%の効果を維持（繰返し加熱冷却実験による）

「遮熱」

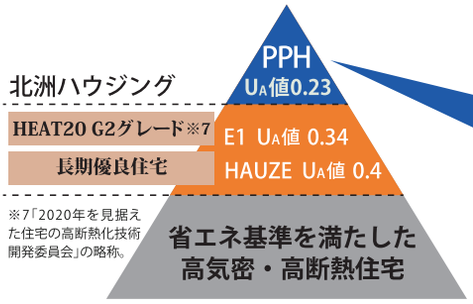
■日射遮蔽アミ戸

国内メーカーと共同開発

遮熱と虫の侵入を防ぐ2つの機能を兼ね備えたシステムです。東西面に設置することで、西日対策にも役立ちます。

■外付けブラインド

スラット（羽）を調整することで日射を遮熱するシステムです。方位や太陽高度に関係なく採光とプライバシーを確保出来ます。

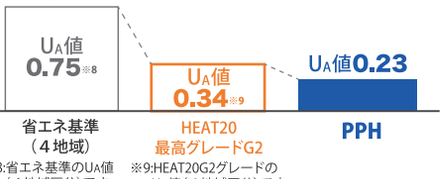


※7「2020年を見据えた住宅の高断熱化技術開発委員会」の略称。

プレミアムパッシブハウスは、業界トップレベル UA値※8 0.23 W/㎡K を実現しています。

※8：外皮平均熱還流率（UA値）[W/㎡K]のこと。建物内外の温度差が１℃の場合の部位ごとの熱損失量の合計を、外皮等の面積の合計で除した値をいいます。UA値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性能が高くなります。

■各基準との UA 値比較



※8:省エネ基準のUA値（４地域区分）です。
※9:HEAT20G2グレードのUA値（４地域区分）です。

HOKUSHU
北洲ハウジング

株式会社 北洲　ハウジング事業部　www.hokushuhousing.co.jp
〒981-3341 宮城県富谷市成田9丁目2-2

2017.04